

CO患者— 吉田頼義さん死亡

三池労組だけで今年5人目

十一月 じられたい思いです。

十六日午 吉田さんは、原告団の駿馬北
前五時、CO患者退職者の班長として
身体の不自由なのをとおして熱心
評議病院に活動され、CO後遺症回復の
ためジョギングや盆栽など、血
のにむくような努力をされてい
ました。吉田さんのお通夜には
ジョギング仲間も参加され「あ
んなに元気だったのに」「せめ
て七十までは生きろなら」な
ど話していました。

目七、CO患者の死亡は、本年二月
に佐藤信義さん、五月に坂井武
心臓病で、十月に長谷政人さん、
柿添春義さん、そして吉田さん
と、三池労組関係だけで今年
は、十一月二日、検査のため入
院されていたが、九日の抗腫瘍
会には「歩いて市民会館まで
労組の退職者の下田さん(元野
た)と、元気な姿で参加されて
添社宅」も三日前の十三日に死
亡したのに、突然の病状悪化に信
亡されています。(小川結志)

各地からの通信

組合員、家族、CO患者とその家族、あるいは遺族の手もと
は各地から、心暖まる通信が寄せられています。次に、それらの
通信の中から紹介します。

たとえ苦し さ多くとも

奈良 寺地 保

三池にまなぶの際は、大分お世話
になりました。ありがとうございます。
三池にまなぶの際は、大分お世話
になりました。ありがとうございます。

今日は、福井県の職安に出張で
いって来ました。

実は住居の電車で、偶然に
も大阪府安部執行委員と同居に
なり、致意までいろいろ組合の話
をする事ができました。

たまたま全協議案書を読んで、
たまたま「何読んでるんや」と
というところから話が始まり、と
うやうやしく、社会新聞、ま
手渡して、購読をすすめました。
「読んでみる」という事だったの
しかしながら、三池から帰って

大災害裁判42回公判を闘って

「補償は精いっぱい」に

会社側証言に怒り湧く

十一月二十日、福岡地裁にお
いて、三池大災害裁判第四十二回公
判が開かれました。CO患者、そ
の家族、遺族、職員の組合員や主
婦会など、法廷を埋めつくし、
会社からも四、五人の係員が動員
されていました。

今回は当時、三井鉱山本店(東
京)の労働部長であった西山慎
太郎証人に対する、会社側代理人
による尋問でした。

証言内容は、CO闘争に対する
きても、社会の、職員のきびしい
条件は変わっていないわけでは
なく、行く時より行く、行かな
い時の方が、ずっと多いと思っ
ています。でも苦しい時は三池を思
い出し、地道に、あきらめること
なく、仲間いっしょをしていき
たい、と思います。

CO患者を守る会についても、
大阪の地で会費を増やす努力を
したい、と思います。

三池主婦会の中で、労働組合と
ともに三井資本と闘い、学習と一
体となった実践の中で、仲間と
ともに苦しみ、はげまし合って生
きていく中から、仲間に対する
信頼、確信が生まれてきたのだと
感じました。だから動揺がありな
がら、仲間を裏切ることとは人間
としてできないのだ、と思いまし
た。

寺地さんは「奈良市学園大和町
五丁目、公務員宿舎八五二号」に
お住まいです。右はCO患者家族
の会長の石原マサ子さんに寄せ
られたものです。

その日の西山証言

解説

協定について

西山証人は、CO遺族協

て重大なものとなっている。

ぶつて我を慰めてよいやわら

かません。

事故の内容は、存知の通りで、

本気でどうしてと早く手をう

てなかったものかと、腹立ちで

いいます。このように当面に

した者でないわけが、何

年か、何十年前の自分の立場に

なり、思い出して怒りに狂って

ます。

私も、今年の二月に長男の十七

回忌をしました。来年は夫の二十

三回忌です。会社は死んだ者の

ことなど忘れたように、供養心

のないままです。私の知人で

主人と長男の災害の時に大分お

世話になりました。また地底から

出ておられませんか。その方

原告団消息

10月31日 仲山若男さん、曙病院
へ入院。

11月2日 吉田頼義さん、曙病院
へ入院。

18日 「みいけ」原告団編集
会。

13日 山野裁判、公判傍聴。
遺族会役員会。

16日 吉田頼義さん、逝去。
心から哀悼の意を表し
ます。

20日 北炭夕張災害、調査・
交流のため遺族会から
代表をおくる。

24日 原告団事務局会議。

を思えば心が痛く、ただ涙です。
七十七歳の母親と、娘さん二人が
まだ結婚もしていないのです。
私も年老いて、少々ばかたまた
いですが、頑張ります。長生きし
なければ、一生懸命仕立物をし
ながら暮らしてまいります。溝口さ
まも八十歳とか、あまり無理しな
いようお体に十分気を付けて、い
つまでも元気で。私も、もう六十
四歳になります。

御地の皆さまに、どうぞよろし
くお伝えくださいませ。

新聞、みいけ、ありがとうございます。

このお便りは、北炭夕張炭鉱で
ご主人を喪失事故で失い、長男を
四十一年二月のガス爆発で失った、
夕張市本町六丁目A三三三アパート
十五号にお住いの高橋エシさんか
ら、三池遺族会の溝口会長あてに
いただいたものです。

なお高橋さんは、全国炭鉱連合
会、遺族会を三年間勤められまし
た。

「組合の誤り、長期抵抗路
いけ、をつくらせよう。」

守る会の皆さん
ご投稿を

全国のCO患者を守る会会員の皆
さん、別項のように、本紙は新年
号への投稿をお願いします。ま
す。どうか、ぜひぜひ投稿をだ
さるよう、心からお願いいたします。
みんなの手をこめて、よい、み
いけ、をつくらせよう。

おわび

このページに、CO患者家族の
渡辺ハギエさんから、全国の、ま
なみの青年たちとの交流について
手記が寄せられています。

ところがごらんのように、今号
は記事が多く掲載できずしてし
たので、必ず必ず紹介すること
にしてあります。どうかよろしく
ご理解を願っています。

編集部

組合員、家族、CO患者とその家族、あるいは遺族の手もと
は各地から、心暖まる通信が寄せられています。次に、それらの
通信の中から紹介します。

寺地さんは「奈良市学園大和町
五丁目、公務員宿舎八五二号」に
お住まいです。右はCO患者家族
の会長の石原マサ子さんに寄せ
られたものです。

寺地さんは「奈良市学園大和町
五丁目、公務員宿舎八五二号」に
お住まいです。右はCO患者家族
の会長の石原マサ子さんに寄せ
られたものです。

寺地さんは「奈良市学園大和町
五丁目、公務員宿舎八五二号」に
お住まいです。右はCO患者家族
の会長の石原マサ子さんに寄せ
られたものです。

寺地さんは「奈良市学園大和町
五丁目、公務員宿舎八五二号」に
お住まいです。右はCO患者家族
の会長の石原マサ子さんに寄せ
られたものです。

寺地さんは「奈良市学園大和町
五丁目、公務員宿舎八五二号」に
お住まいです。右はCO患者家族
の会長の石原マサ子さんに寄せ
られたものです。

寺地さんは「奈良市学園大和町
五丁目、公務員宿舎八五二号」に
お住まいです。右はCO患者家族
の会長の石原マサ子さんに寄せ
られたものです。